

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 1 部門第 2 区分
 【発行日】令和 1 年 12 月 5 日 (2019.12.5)

【公開番号】特開 2017-209271 (P2017-209271A)
 【公開日】平成 29 年 11 月 30 日 (2017.11.30)
 【年通号数】公開・登録公報 2017-046
 【出願番号】特願 2016-103971 (P2016-103971)
 【国際特許分類】

A 6 3 F 5/04 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 5/04 5 1 2 Z

A 6 3 F 5/04 5 1 2 D

A 6 3 F 5/04 5 1 6 F

【手続補正書】

【提出日】令和 1 年 10 月 24 日 (2019.10.24)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

各々が識別可能な複数種類の識別情報を変動表示可能な可変表示部を備え、
 前記可変表示部の変動表示を停止することで表示結果を導出し、該表示結果に応じて入賞が発生可能なスロットマシンにおいて、
 遊技の制御を行う遊技制御手段と、
 遊技制御手段から送信された制御情報に基づいて演出を行う演出制御手段と、
 遊技者が表示結果を導出させるために操作する導出操作手段と、
前記遊技制御手段により制御される第 1 報知手段と、
前記演出制御手段により制御される第 2 報知手段と、を備え、
前記第 1 報知手段及び前記第 2 報知手段は、いずれも遊技者が遊技を行いながら視認可能であり、

前記遊技制御手段は、

表示結果が導出される前に、導出が許容される表示結果を決定する事前決定手段と、

前記事前決定手段の決定結果毎に各々異なる数値を設定する数値設定手段と、

前記数値設定手段により設定された数値に応じて所定制御を行う所定制御手段と、

表示結果を導出する制御を行う手段であって、前記事前決定手段の決定結果が複数種類の特定決定結果のうちいずれかの種類の特定決定結果となった場合において、該特定決定結果の種類に応じた操作態様にて前記導出操作手段が操作されたときに、該特定決定結果の種類に応じた操作態様以外の操作態様にて前記導出操作手段が操作されたときよりも遊技者にとって有利な表示結果を導出する制御を行う導出制御手段と、

前記事前決定手段の決定結果がいずれかの種類の特定決定結果となったときに、該特定決定結果の種類に応じた操作態様に対応する情報を前記第 1 報知手段に報知させる制御を行う第 1 報知制御手段と、

前記事前決定手段の決定結果がいずれかの種類の特定決定結果となったときに、いずれかの種類の特定決定結果となったことが特定可能であるが、該特定決定結果の種類が特定不能であり、かつ該特定決定結果の種類に応じた操作態様が特定不能な第 1 制御情報を前記演出制御手段に対して送信可能な第 1 制御情報送信手段と、

前記事前決定手段の決定結果がいずれかの種類の特定決定結果となったときに、該特定決定結果の種類に応じた操作態様を特定可能な第2制御情報を前記演出制御手段に対して送信可能な第2制御情報送信手段と、を含み、

前記第1制御情報送信手段は、前記特定決定結果の種類に応じた操作態様に対応する情報を前記第1報知手段に報知させる場合にも報知させない場合にも第1制御情報を送信し、

前記第2制御情報送信手段は、前記特定決定結果の種類に応じた操作態様に対応する情報を前記第1報知手段に報知させない場合には第2制御情報を送信せず、前記特定決定結果の種類に応じた操作態様に対応する情報を前記第1報知手段に報知させる場合には第2制御情報を送信し、

前記演出制御手段は、前記第2制御情報を受信したときに、該第2制御情報から特定される特定決定結果の種類に応じた操作態様に対応する情報を前記第2報知手段に報知させる制御を行う第2報知制御手段を含み、

前記事前決定手段の決定結果がいずれかの種類の特定決定結果となったときに前記数値設定手段により設定される数値として、所定数値範囲からなる連続する数値が割り当てられており、

前記第1制御情報送信手段は、前記数値設定手段により設定された数値が、前記所定数値範囲であるときに、第1制御情報を送信し、

前記スロットマシンは、

データの読み出し及び書き込みが可能であり、バックアップ電源により記憶内容が保持されるデータ記憶手段を備え、

前記データ記憶手段の記憶領域は、

遊技に関連する処理に用いられる第1記憶領域と、遊技機の性能を判断するのに必要な情報を表示するための処理に用いられる第2記憶領域と、を含み、

前記第1記憶領域は、初期化条件の成立にもとづいて記憶内容が初期化される一方、前記第2記憶領域は、前記初期化条件が成立しても記憶内容が初期化されない、スロットマシン。

【**手続補正2**】

【**補正対象書類名**】明細書

【**補正対象項目名**】0006

【**補正方法**】変更

【**補正の内容**】

【**0006**】

上記課題を解決するために、本発明に係る手段Aのスロットマシンは、

各々が識別可能な複数種類の識別情報を変動表示可能な可変表示部を備え、

前記可変表示部の変動表示を停止することで表示結果を導出し、該表示結果に応じて入賞が発生可能なスロットマシンにおいて、

遊技の制御を行う遊技制御手段と、

遊技制御手段から送信された制御情報に基づいて演出を行う演出制御手段と、

遊技者が表示結果を導出させるために操作する導出操作手段と、

前記遊技制御手段により制御される第1報知手段と、

前記演出制御手段により制御される第2報知手段と、を備え、

前記第1報知手段及び前記第2報知手段は、いずれも遊技者が遊技を行いながら視認可能であり、

前記遊技制御手段は、

表示結果が導出される前に、導出が許容される表示結果を決定する事前決定手段と、

前記事前決定手段の決定結果毎に各々異なる数値を設定する数値設定手段と、

前記数値設定手段により設定された数値に応じて所定制御を行う所定制御手段と、

表示結果を導出する制御を行う手段であって、前記事前決定手段の決定結果が複数種類の特定決定結果のうちいずれかの種類の特定決定結果となった場合において、該特定決

定結果の種類に応じた操作態様にて前記導出操作手段が操作されたときに、該特定決定結果の種類に応じた操作態様以外の操作態様にて前記導出操作手段が操作されたときよりも遊技者にとって有利な表示結果を導出する制御を行う導出制御手段と、

前記事前決定手段の決定結果がいずれかの種類の特定決定結果となったときに、該特定決定結果の種類に応じた操作態様に対応する情報を前記第 1 報知手段に報知させる制御を行う第 1 報知制御手段と、

前記事前決定手段の決定結果がいずれかの種類の特定決定結果となったときに、いずれかの種類の特定決定結果となったことが特定可能であるが、該特定決定結果の種類が特定不能であり、かつ該特定決定結果の種類に応じた操作態様が特定不能な第 1 制御情報を前記演出制御手段に対して送信可能な第 1 制御情報送信手段と、

前記事前決定手段の決定結果がいずれかの種類の特定決定結果となったときに、該特定決定結果の種類に応じた操作態様を特定可能な第 2 制御情報を前記演出制御手段に対して送信可能な第 2 制御情報送信手段と、を含み、

前記第 1 制御情報送信手段は、前記特定決定結果の種類に応じた操作態様に対応する情報を前記第 1 報知手段に報知させる場合にも報知させない場合にも第 1 制御情報を送信し、

前記第 2 制御情報送信手段は、前記特定決定結果の種類に応じた操作態様に対応する情報を前記第 1 報知手段に報知させない場合には第 2 制御情報を送信せず、前記特定決定結果の種類に応じた操作態様に対応する情報を前記第 1 報知手段に報知させる場合には第 2 制御情報を送信し、

前記演出制御手段は、前記第 2 制御情報を受信したときに、該第 2 制御情報から特定される特定決定結果の種類に応じた操作態様に対応する情報を前記第 2 報知手段に報知させる制御を行う第 2 報知制御手段を含み、

前記事前決定手段の決定結果がいずれかの種類の特定決定結果となったときに前記数値設定手段により設定される数値として、所定数値範囲からなる連続する数値が割り当てられており、

前記第 1 制御情報送信手段は、前記数値設定手段により設定された数値が、前記所定数値範囲であるときに、第 1 制御情報を送信し、

前記スロットマシンは、

データの読み出し及び書き込みが可能であり、バックアップ電源により記憶内容が保持されるデータ記憶手段を備え、

前記データ記憶手段の記憶領域は、

遊技に関連する処理に用いられる第 1 記憶領域と、遊技機の性能を判断するのに必要な情報を表示するための処理に用いられる第 2 記憶領域と、を含み、

前記第 1 記憶領域は、初期化条件の成立にもとづいて記憶内容が初期化される一方、前記第 2 記憶領域は、前記初期化条件が成立しても記憶内容が初期化されない

ことを特徴としている。

手段 1 のスロットマシンは、

各々が識別可能な複数種類の識別情報を変動表示可能な可変表示部（リール 2 L、2 C、2 R）を備え、

前記可変表示部（リール 2 L、2 C、2 R）の変動表示を停止することで表示結果を導出し、該表示結果に応じて入賞が発生可能なスロットマシン（スロットマシン 1）において、

遊技の制御を行う遊技制御手段（メイン制御部 4 1）と、

遊技制御手段から送信された制御情報（コマンド）に基づいて演出を行う演出制御手段（サブ制御部 9 1）と、

遊技者が表示結果を導出させるために操作する導出操作手段（ストップスイッチ 8 L、8 C、8 R）と、

前記導出操作手段の操作態様（停止順）を識別可能に報知することが可能な操作態様報知手段（ナビ報知、ナビ演出）と、

を備え、

前記遊技制御手段は、

表示結果が導出される前に、導出が許容される表示結果を決定する事前決定手段（内部抽選）と、

前記事前決定手段（内部抽選）の決定結果毎に各々異なる数値（当選番号）を設定する数値設定手段と、

前記数値設定手段により設定された数値（当選番号）に応じて所定制御（内部当選フラグの設定、ナビ報知、コマンド作成、リール２Ｌ、２Ｃ、２Ｒの停止制御等）を行う所定制御手段と、

前記事前決定手段（内部抽選）の決定結果が報知（ナビ報知）の対象となる報知対象結果（報知対象役）となったときに遊技者にとって有利な有利操作態様（遊技者にとって有利な停止順）が報知される報知状態（ナビ報知が実行される状態）に制御する報知状態制御手段と、

前記事前決定手段（内部抽選）の決定結果に関する特定制御情報（第１の内部当選コマンド、第２の内部当選コマンド）を前記演出制御手段に対して送信する特定制御情報送信手段と、

を含み、

前記報知対象結果（報知対象役）となったときに前記数値設定手段により設定される数値（当選番号）として、所定の数値範囲（２～１９、２３～３４）からなる連続する数値が割り当てられており、

前記特定制御情報送信手段は、少なくとも前記報知状態（ナビ報知が実行される状態）以外の状態において、前記数値設定手段により設定された数値（当選番号）が、前記所定の数値範囲（２～１９、２３～３４）であるときに、前記報知対象結果（報知対象役）となった旨は特定できるが前記有利操作態様（遊技者にとって有利な停止順）を特定できない前記特定制御情報（第２の内部当選コマンド）を前記演出制御手段（サブ制御部９１）に対して送信する

ことを特徴としている。

この特徴によれば、遊技制御手段と演出制御手段とを備え、遊技制御手段から送信された特定制御情報から事前決定手段の決定結果に関する情報が特定される構成において、遊技制御手段側で操作手順報知手段により遊技者にとって有利な有利操作手順が報知される報知状態に制御するとともに、遊技制御手段は、少なくとも報知状態以外の状態において事前決定手段の決定結果が報知対象結果となったときに、報知対象結果となった旨は特定できるが有利操作態様を特定できない特定制御情報を演出制御手段に対して送信するので、遊技制御手段側で報知状態に制御しているか否かに関わらず、特定制御情報から事前決定手段の決定結果に応じた有利操作手順が特定されることはないため、演出制御手段側に不正がなされても報知状態に制御されていない状態で有利操作態様が報知されてしまうことを防止できる。また、報知対象結果となったときに数値設定手段により設定される数値として、所定の数値範囲からなる連続する数値が割り当てられているとともに、遊技制御手段は、報知対象結果であるか否かを、所定制御を行う際に用いられる数値が報知対象結果に対して割り当てられた所定の数値範囲であるか否かにより判定できるため、特定制御情報を送信する際の処理を簡素化できる。